

地域の社会的課題解決に向けた起業に関するコラボ講義

ちほめんNews vol.69

滋賀県立大学の地域デザインA（地域再生システム論）でWeb配信



滋賀県立大学から、“地域課題について学ぶ学生に対して、地域課題を踏まえたビジネスプラン構築のポイント等についてレクチャーしていただきたい”とのお話を受け、大津財務事務所が(株)日本政策金融公庫、(公財)滋賀県産業支援プラザに協力を依頼をして、2021年2月20日に、3者によるコラボ講義を開催しました。

コラボ講義は、同大学の講義“地域デザインA（地域再生システム論）”の中で、同大学にて受講する39名の学生に対してzoomを活用して実施しました。受講者からは、「地域課題解決のためには継続が大切で、そのためには事業化も一つの解決策。ビジネス思考も大切だと思った。」等の感想が寄せられました。

●(株)日本政策金融公庫による講義

日本政策金融公庫大津支店から橋本支店長と永瀬融資課長にご講義いただきました。講義の前半は、橋本支店長から、地域課題解決に向けた取組を事業化するためのポイントについて、ソーシャルビジネスに取り組む企業の特徴や公庫の支援制度等の説明を織り交ぜながらお話いただきました。

2 ソーシャルビジネスとは 1/2

	エコノミック (経済)	ソーシャル (社会)	ライフ (生活)
目的	利益の最大化	ビジョンの実現 (社会課題の解決)	理想の暮らしの実現
目的	株主のために	社会のために	私のために
取組方法	①利益 ②売上 ③費用	①社会的成果 ②支出 ③収入	①世界観 ②価値観 ③収益試算
取組者との関係	競争	協業	支援

ソーシャルビジネスと他のビジネスとの最大の違い



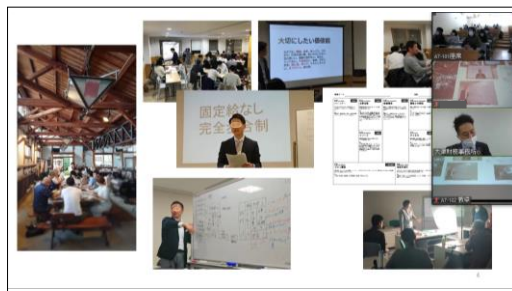
講義の後半は、永瀬融資課長から、ビジネスアイデアの発想のための考え方やビジネスアイデアをビジネスプラン化するために考えるべきコンセプト（事業の骨組み）等について、身近な例を挙げながら説明していただきました。

●(公財) 滋賀県産業支援プラザによる講義

滋賀県産業支援プラザから創業支援課の川口主査にご講義いただきました。

講義では、滋賀県産業支援プラザの創業支援の取組や県内の地域課題の解決に向けた起業に対する支援事例等について、ご自身の体験談を交えながら紹介していただきました。

また、当コラボ講義の結びとして、「地域の課題解決には地域の資源をうまく使うこと、地域の人々の共感を得て協力してもらうのがよく、同じ



ように、支援機関もうまく巻き込んで活用していただきたい」とのメッセージを発信していただきました。

●大津財務事務所による講義

大津財務事務所は、ちほめん（地方創生企画の推進に取り組み若手職員）が講義を担当しました。講義では、簡単に大津財務事務所の業務を紹介した後、地方創生

支援に関する取組事例を紹介し、最後には、政府のまち・ひと・しごと創生総合戦略の抜粋を引用しながら、地域における社会的課題の解決に資する起業についての国の支援方針について紹介しました。